

政 策 情 報 学 会

第 18 回 研 究 大 会



2022 年 11 月 26 日（土）

会場 東洋学園大学 本郷キャンパス

政策情報学会第 18 回研究大会 開催にあたって

テーマ：「コロナ後の世界と政策情報」

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大からまもなく 3 年となるが、収束の見込みはたまた明確な出口はまだ見えない状況である。このコロナ禍で、社会の様々なセクターにおいて、多くの対策・対応が模索された。医療機関では、病床の枯渇など危機管理の問題が浮かび上がり、日本の医療体制への見直しの議論が高まった。ワクチン開発では、大企業だけではなくベンチャー企業からも新ワクチンが登場し世界を変えていった。また、そのスピードにおいても驚異的なものがあり、既存の概念を大きく変化させた。教育現場ではオンライン授業が一気に普及し、教育方法の見直しが迫られた。これまでのルールでは太刀打ちできない状況が各所でみられる中、根本的な発想の転換が迫られるような状況に戸惑う現状がある。一方で、ウィズコロナを経てコロナ後を意識した動きが見え始め、新たなシステム構築が模索されつつある。

このような中で、人々の意識変化も明確であるといえる。ウチからソトへと行動のみならず意識も変化することで、よりアクティブで前向きな発想も期待できる環境が整いつつあるといってもよいだろう。

しかし、閉塞感が漂っていた世界が開かれた世界に変わる気配は、ウクライナ問題によって出鼻をくじかれた印象もある。中国の積極的な海洋進出にも注目が集まり、超大国の行動も新たな段階に進みつつあるといえよう。

このように、コロナ後を見据えた動きは活発になりつつあり、各分野における動きを掴むことは学会に求められる 1 つの目標であろう。そこには、現状分析だけではなく、提案型のあらたな社会の姿を見せるような革新的な活動も含まれる。

本大会においては、分野を横断し変化する世界に果敢に挑む研究の一端をみることであれば何よりである。コロナにただただ追われていた世界が、コロナからの脱却が意識され、そしてコロナ後の世界を描くことができる環境が整いつつあることから、コロナ以前とは異なる世界観を見せる研究が期待される。

多くの発表が行われ、活発な議論が展開されることを期待する。

今大会は政策情報学会としては初めての東洋学園大学での開催となります。東京駅からキャンパス最寄り各駅までわずか 10 分弱とアクセスしやすい環境ですので、しばらく学会に参加できなかった会員の皆様もぜひお越し下さい。研究発表の積極的なエントリーもお待ちしております。

政策情報学会第 18 回大会実行委員長
東洋学園大学グローバル・コミュニケーション学部教授
泰松 範行

大会参加要領

- (1) 日時 2022年11月26日(土) 10:30~17:10 (受付: 10:15~15:45)
東洋学園大学本郷キャンパス 1号館
- (2) 大会参加費 一般会員・学生会員・非会員 1,000円
※学生会員の方は身分証明書をご提示下さい。
※東洋学園大学の学生・教職員は無料(学生証・教職員証をご提示下さい)。
- (3) 意見交換会参加費 無料
※懇親会の代わりに意見交換会を開催します(軽食あり)
- (4) 研究発表 1人あたり発表15分+質疑5分
- (5) 大会本部 〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3
東洋学園大学グローバル・コミュニケーション学部 泰松研究室 宛
E-Mail: taikai-18@policyinformatics.org
- (6) 学会事務局 〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学内
- (7) 使用会場
- | | |
|-----------------|-------------|
| 開会式 | 1号館3階1301教室 |
| 研究発表(研究大会賞選考報告) | 1号館3階1301教室 |
| 研究発表(一般報告) | 1号館3階1302教室 |
| 学会賞選考審査 | 1号館3階1303教室 |
| 理事会・臨時理事会 | 1号館3階1303教室 |
| 定期総会 | 1号館3階1301教室 |
| 基調講演 | 1号館3階1301教室 |
| パネルディスカッション | 1号館3階1301教室 |
| 学会賞授与式 | 1号館3階1301教室 |
| 閉会式 | 1号館3階1301教室 |
| 意見交換会 | 1号館3階1303教室 |
- (8) 昼食場所 当日学食の営業はございません。会場付近にあります飲食店、コンビニエンスストア等をご利用ください。

会 場 東洋学園大学 本郷キャンパス
〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3

主 催 政策情報学会

共 催 東洋学園大学 次世代教育推進室

【大会の出欠連絡】

○11月11日（金）までに出欠の連絡をお願いいたします。

（出欠フォーム）学会サイト内の研究大会出欠フォームをご利用ください。

（郵送の場合）①所属、②氏名、③研究大会の参加有無、④意見交換会の参加有無、⑤定期総会の参加有無（一般会員のみ）を記入の上、学会事務局までご連絡ください。

＜郵送先＞ 〒357-8555 埼玉県飯能市阿須 698
駿河台大学情報処理教育センター
政策情報学会事務局長 濱野和人 宛

【大会参加費】

○研究大会当日、受付にてお支払いください（領収書を発行します）。

【会場へのアクセス】

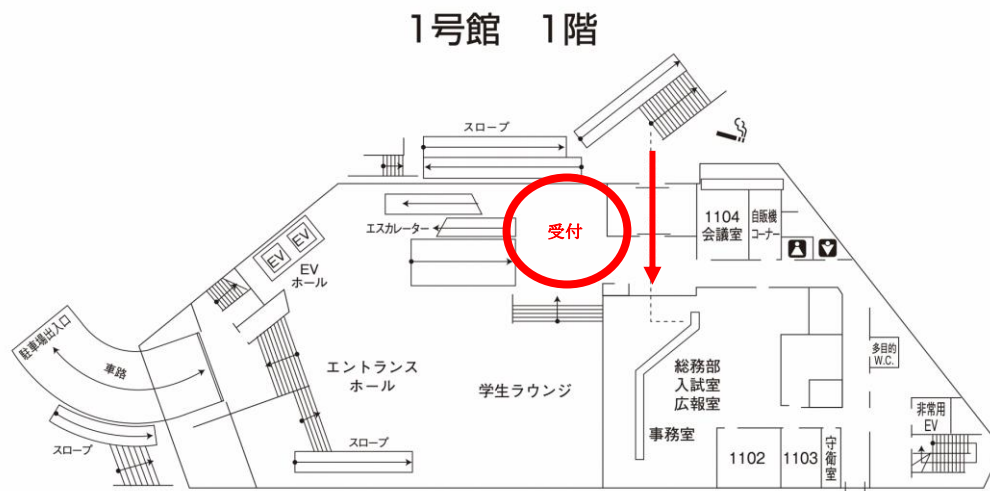
○交通アクセス <https://www.tyg.jp/access/index.html>



■最寄り駅からのアクセス

- 東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目」駅（改札を出て左）徒歩4分
- 都営大江戸線「本郷三丁目」駅（改札を出て右）徒歩6分
- JR総武線「水道橋」駅（東口）から徒歩7分
- 都営三田線「水道橋」駅（A6出口）から徒歩3分
- 東京メトロ丸ノ内線/南北線「後楽園」駅（1～3番出口）から徒歩7分

■会場受付



1階 受付

3階 会場

連絡先

第18回研究大会実行委員会

東洋学園大学グローバル・コミュニケーション学部 泰松範行 宛

E-mail : taikai-18@policyinformatics.org

プログラム

第 60 回理事会	9:45~10:15	1 号館 3 階 1303 教室
受付	10:15~15:45	1 号館 1 階
大会参加費：1,000 円		
開会式	10:30~10:40	1 号館 3 階 1301 教室
開会挨拶：泰松範行（大会実行委員長：東洋学園大学） 会長挨拶：若井郁次郎（政策情報学会会長：モスクワ州国立大学）		
研究発表（研究大会賞選考報告）	10:50~12:00	1 号館 3 階 1301 教室
座長：朽木量（千葉商科大学）		
(1 人あたり発表 15 分、質疑 5 分)		
【報告①】（10:50~11:10） 報告者：太田智之（日本経済大学） テーマ：「九州地方のネパール人におけるコロナ禍の経済的影響と対処戦略：都市部と農村地域で差異は見られるのか」		
【報告②】（11:15~11:35） 報告者：岡村 誠（東海学園大学） テーマ：「自治体職員の専門性と職務パフォーマンスの関連性に関する実証研究」		
【報告③】（11:40~12:00） 報告者：杉谷和哉（岩手県立大学） テーマ：「EBPM のダークサイド：その実態と対処法に関する試論」		
研究発表（一般報告）	10:50~11:35	1 号館 3 階 1302 教室
座長：笠井賢紀（慶應義塾大学）		
(1 人あたり発表 15 分、質疑 5 分)		
【報告①】（10:50~11:10） 報告者：張 継唐（日本経済大学大学院（院生））・高橋文行（日本経済大学大学院） テーマ：「コロナ後の中国「インターネット＋在宅介護サービス」の考察」		
【報告②】（11:15~11:35） 報告者：新美貴英（安田女子大学） テーマ：「政策秘書の役割とは何か」		
昼食休憩	12:00~13:30	
学会賞選考審査	12:00~12:10	1 号館 3 階 1303 教室
第 19 回定期総会	12:15~12:45	1 号館 3 階 1301 教室
（※対象：一般会員）		
司会：若井郁次郎（政策情報学会会長：モスクワ州国立大学） ①第 10 期役員（理事）選挙結果報告 ②2022 年度（第 18 期）活動報告・収支決算報告 ③2023 年度（第 19 期）活動計画・収支予算案 ④その他		
臨時理事会（新理事対象）	12:50~13:20	1 号館 3 階 1303 教室

メインセッション1		
第1部 基調講演	13:30~14:15	1号館3階1301教室
メインテーマ「ロシアをどうみるか」 講演者：朱 建栄（東洋学園大学グローバル・コミュニケーション学部教授） テーマ：「中国からみたユーラシア秩序」 討論者・コーディネーター：福井英次郎（明海大学外国語学部准教授）		
休憩	14:15~14:30	
第2部 パネルディスカッション	14:30~15:30	1号館3階1301教室
総合司会 市川 颯（東洋大学国際学部教授） パネリスト：羽場久美子（青山学院大学名誉教授、神奈川大学国際日本学部教授） 「討論：ロシア・東欧諸国からみたユーラシア秩序」 小林正英（尚美学園大学総合政策学部教授） 「討論：EU からみたユーラシア秩序」 朱 建栄（東洋学園大学グローバル・コミュニケーション学部教授） 福井英次郎（明海大学外国語学部准教授）		
休憩	15:30~15:45	
メインセッション2		
パネルディスカッション	15:45~17:00	1号館3階1301教室
「コロナ後のオンライン授業を考える」 総合司会：泰松範行（東洋学園大学グローバル・コミュニケーション学部教授） パネリスト：藤平愛美（大阪大学日本語日本文化教育センター講師） 「ハイブリッド授業対応教室の構築とTAの育成」 奥田雄一郎（共愛学園前橋国際大学国際社会学部教授） 「地方小規模大学におけるコロナ禍による対面からオンラインへのア クティブラーニングへの移行のメリットとデメリット」 河 東賢（韓国・全北大学行政学科副教授） 「コロナ禍後、韓国大学の教授法の変化と課題」 討論者：太田康友（駿河台大学経済経営学部専任講師）		
学会賞授与式・閉会式	17:00~17:10	1号館3階1301教室
学会賞報告：朽木 量（学会賞選考委員長：千葉商科大学） 学会賞授与：若井郁次郎（政策情報学会会長：モスクワ州国立大学） 新会長挨拶 閉会挨拶：泰松範行（大会実行委員長：東洋学園大学）		
意見交換会	17:15~18:15	1号館1階1303教室
参加費：無料		